



「誠実で☆キラリと光る☆  
ナンバーワン&オンリーワン」を目指して



TOTETSU

2018年9月

東鉄工業株式会社

(東証1部:1835)





## 目次

- |            |         |
|------------|---------|
| 1. 会社概要    | P. 3～ 9 |
| 2. 事業部門別業況 | P.10～17 |
| 3. トピックス   | P.18～21 |
| 4. 業績推移    | P.22～25 |
| 5. 新中期経営計画 | P.26～43 |
| 6. ご参考     | P.44～45 |

## 出席者

代表取締役 社長

柳下 尚道

取締役専務執行役員 経営企画本部長

宮本 潤二

経営企画本部 広報・IR部長

新妻 誠

本資料は、全て連結決算数値で表示しております



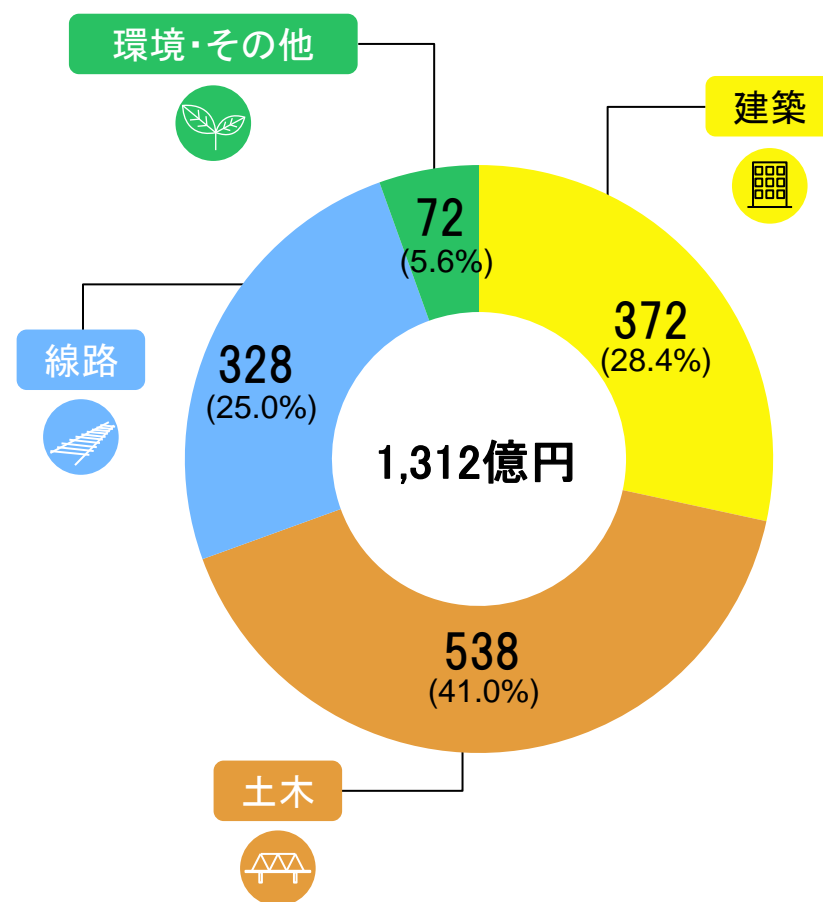
## 鉄道関連工事の専門技術をコアコンピタンスとする総合建設業

(2018年3月31日現在／連結)

会社名	東鉄工業株式会社(TOTETSU KOGYO CO.,LTD)
本社所在地	東京都新宿区信濃町34番地 JR信濃町ビル
資本金	28億1,000万円
代表者	代表取締役社長 <small>やぎした なおみち</small> 柳下 尚道
従業員数	1,808人(連結)
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東鉄機工株式会社 ● 東鉄メンテナンス工事株式会社</li> <li>● 東鉄創建株式会社 ● 興和化成株式会社</li> </ul>
売買単位	100株
株主構成	主要株主については5ページをご参照

2018年3月期部門別売上高(連結)

(単位:億円)



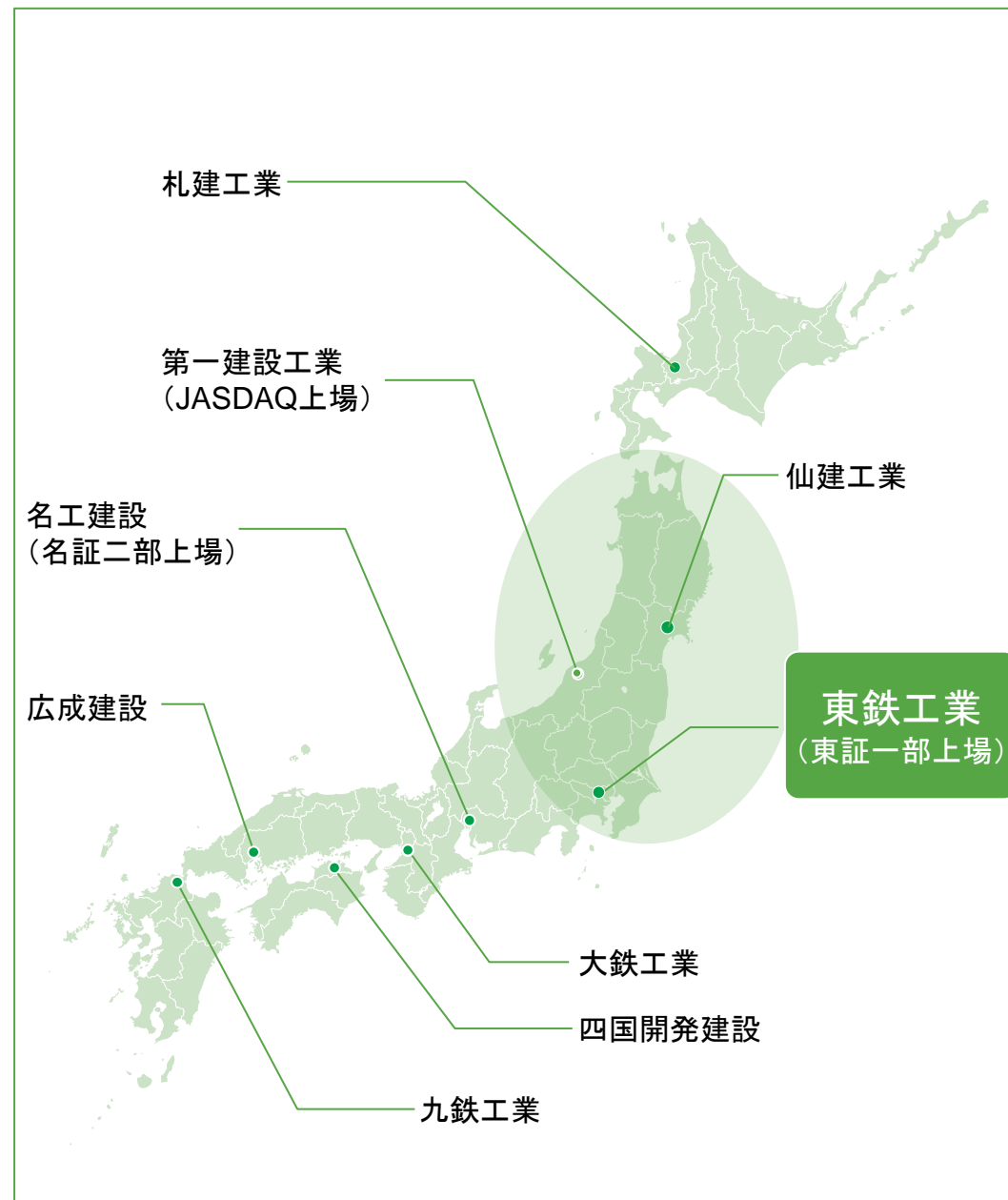
# 1. 会社概要【沿革／保線を支える主な企業】



## 設立以来75年の歴史

年	月	沿革
昭和18年	7月	「東京鐵道工業株式会社」設立 鐵道の保持・強化を目的に、当時の鐵道省の要請により、 関東地方の建設業者が企業合同し、 国策会社「東京鐵道工業株式会社」として、 丸の内1丁目1番地に設立
昭和27年	7月	商号を「東鉄工業株式会社」に変更
昭和37年	11月	株式を東京証券取引所市場第二部に上場
昭和47年	10月	株式を東京証券取引所市場第一部に上場
平成24年	4月	中期経営計画『東鉄3D Hop 2015』をスタート
平成25年	3月	興和化成株式会社を子会社化
平成27年	4月	中期経営計画『東鉄 3D Step 2018』をスタート
平成30年	4月	中期経営計画『東鉄 3D Power Up 2021』を新たにスタート
平成30年	7月	設立75周年を迎える

## 鐵道省(当時)の要請により設立した会社





## 大株主の状況(上位10名)

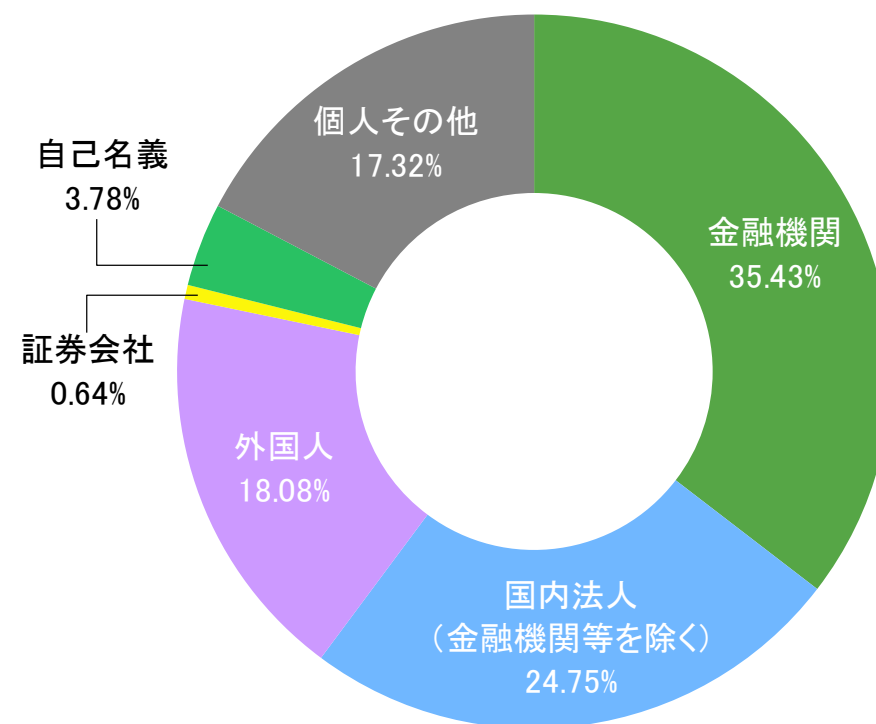
(2018年3月31日現在)

順位	株主名	当社への出資状況	
		持株数 (千株)	持株比率 (%)
1	東日本旅客鉄道株式会社	3,659	10.53
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,082	6.00
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,855	5.34
4	MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	1,133	3.26
5	日本電設工業株式会社	1,088	3.13
6	株式会社みずほ銀行	789	2.27
7	株式会社常陽銀行	777	2.24
8	鉄建建設株式会社	770	2.22
9	明治安田生命保険相互会社	731	2.10
10	東鉄工業社員持株会	693	2.00

(注)持株比率は、自己株式(1,363,356株)を控除して計算しております。

(2018年3月31日現在)

## 所有者別分布状況





## 当社の「立ち位置」

- ①「鉄道の安全」と「インフラの安心」を担う
- ②「専門プロ集団」としての「独自の地歩」
- ③「ステークホルダーからの信頼」

### 経営理念

～安全はすべてに優先する～

当社は、鉄道専門技術の特性を活かした総合建設業として、安全で快適な交通ネットワークと社会基盤の創造に貢献いたします。

### 事業ビジョン

- 鉄道関連工事のリーディングカンパニーとして、
- その高い専門的技術力と、安定した受注の強みを活かし、
- 線路・土木・建築・環境各事業のバランスの取れた事業構造のもと、
- 専門プロ集団として、建設業界に独自の地歩を確保してまいります。

### コーポレートメッセージ

「誠実で☆キラリと光る☆ナンバーワン & オンリーワン」

- 「究極の安全と安心」の追求
- 「技術と品質」へのこだわり
- 「環境」への取り組み
- 「人を大切にする」企業風土
- 「ステークホルダーから信頼」される「誠実な経営」
- 「SDGs」と「ESG」を意識した経営により「ステークホルダーとの共通価値の創造」を図る

線路

軌道メンテナンス工事や、高性能な大型保線機械の施工力などにおいて、質・量ともに我国ナンバーワン、そして常に未来に挑戦し続ける・・・

線路  
土木  
建築

コア3部門においては、鉄道関連・耐震・防災・リニューアル・メンテナンス工事など、当社独自の高い専門性と強みを最大限に活かす・・・

環境

時代を先取りした環境事業「東鉄ECO2プロジェクト」を積極的に推進する・・・

4つの事業部門が相互にシナジーを発揮し、他に類を見ない、ユニークで先進的なビジネスモデルと専門的な技術力により、お客様の多様なニーズにお応えすることができる、☆キラリと光る☆・・・

「ナンバーワン」の東鉄工業を目指します

「オンリーワン」の東鉄工業を目指します



## 当社の目指す「ゴール」

### 「社会的使命」を果たす

- 1
  - 「経営理念(～安全はすべてに優先する～)」に基づいた「軸のブレない経営」
  - 「ステークホルダーから信頼」される「誠実な経営」により、
  - 社会やお客様の「安全」・「安心」・「品質」などのニーズに的確にお応えし、当社の「社会的使命」をしっかりと果たす。

### 「企業価値向上」と「持続的成長」を図る

- 2
  - 事業活動を通じ、「企業価値向上」と「持続的成長」を図り、
  - 「堂々たる成長と飛躍」(「Jump」)に挑戦し続ける。

### 「ステークホルダーとの共通価値の創造」

- 3
  - 「SDGs」及び「ESG」を意識した経営により、
  - お客様、株主、協力会社、従業員、地球環境など、「ステークホルダーとの共通価値の創造」を図る。

「SDGs」: 国連で採択された「持続可能な開発目標」

「ESG」: 環境・社会・ガバナンス



## 「東鉄工業」とは・・・

### ビジネスモデル

- ① 鉄道専門技術を活かした総合建設会社  
(鉄道関連工事のリーディングカンパニー)
- ② 安全で快適な交通ネットワークと  
社会基盤の創造に貢献する会社  
(東日本大震災／東北新幹線等の早期復旧にも貢献)
- ③ 日本一の鉄道線路メンテナンス会社  
(誠実で☆キラリと光る☆「ナンバーワン」の東鉄工業)
- ④ 4つの事業部門が相互にシナジーを発揮する  
ユニークなビジネスモデルを持つ総合建設会社  
(誠実で☆キラリと光る☆「オンリーワン」の東鉄工業)

### 経営方針と特徴

- ① 「究極の安全と安心」を追求し、社会的使命を果たす会社  
(技術と品質への徹底的なこだわりにより、  
社会やお客様の「安全」・「安心」・「品質」などの  
ニーズに的確にお応えする)
- ② 「ステークホルダーから信頼」される「誠実な経営」、  
「SDGs」及び「ESG」を意識した経営により、  
「ステークホルダーとの共通価値の創造」を図る会社
- ③ JR東日本とのパートナーシップに基づく  
安定した受注の強みを持つ会社  
(官公庁・民間一般工事(含む私鉄)受注も強化中)
- ④ 安定した業績と、圧倒的に健全な財務内容を誇る会社  
経営事項審査Y評点 10期連続No.1達成  
(’09/3期～’18/3期)  
※建設経済研究所による主要建設会社決算分析40社の内、一部上場34社を対象





## 「鉄道」を軸に、相互にシナジーを発揮する4つの事業部門

### 線路事業



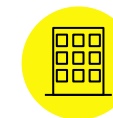
- JR東日本を中心に、線路メンテナンス工事シェア我国No.1
- 高性能な大型保線機械の施工力を誇る
- 軌道新設工事(新幹線・地下鉄・私鉄)・首都圏プロジェクトの実績豊富



### 建築事業



- 駅関連施設／鉄道近接建物に強み
- マンション・オフィス・店舗・工場等の実績豊富
- リニューアル・耐震補強等の受注拡大中
- 環境事業と協働で、ワンストップショッピング戦略、一気通貫戦略を展開中



### 東鉄工業の強み

鉄道関連工事のリーディングカンパニー

高い専門的技術力

安定した受注

### 土木事業



- 鉄道土木関連特殊工法に強み
- 耐震補強の実績が豊富
- 防災・立体交差工事等の高い技術力
- 整備新幹線の実績豊富



### 環境事業



- 「東鉄<sup>エコ</sup>CO<sub>2</sub>プロジェクト」を強力推進中
- ECO(エコ)関連ビジネス積極展開中
- 太陽光発電・緑化(壁面・苔)・アスベスト除去
- 他部門とのシナジーを活かした事業展開





### 線路メンテナンス工事・高性能な大型保線機械の施工力では、我国「ナンバーワン」 鉄道関連工事のリーディングカンパニー

#### REXS(新幹線レール交換システム)



#### レール削正車



#### マルチプルタイタンパー

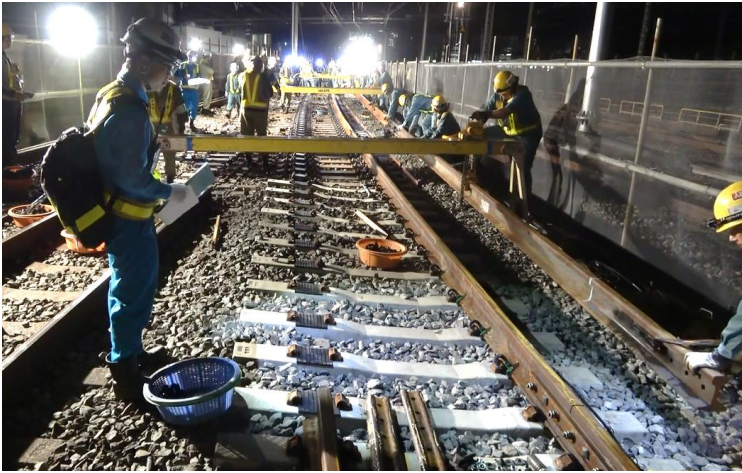


#### 除雪用モーターカー





### JR 品川駅軌道改良工事



### JR 新潟駅付近連続立体交差化工事



### 相鉄・JR直通線西谷軌道敷設工事(鉄道・運輸機構)



### 東武野田線 六実～逆井間複線化工事(東武鉄道株)





### 鉄道・道路関連工事・耐震補強・防災工事に強み

#### JR京浜東北線 ホームドア新設工事(現在12駅を施工中)

シナジー部門  
線路部門



#### JR常磐線 利根川橋りょう改良工事

シナジー部門  
線路部門



#### JR両毛線 あしかがフラワーパーク駅新設工事

シナジー部門  
線路部門



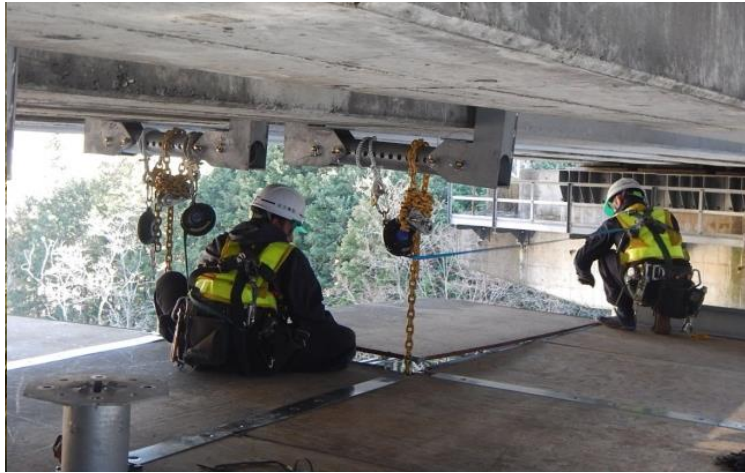
#### JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅改良工事

シナジー部門  
線路部門





### JR 橋りょう構造物修繕工事



### 北陸新幹線 脇本トンネル工事(鉄道・運輸機構)

シナジー部門  
線路部門



### お茶の水聖橋長寿命化工事(東京都 財務局)



### 閑上小塚原線道路改良工事(宮城県 名取市)





駅関連・ホテル・マンション・オフィス・工場等や他部門との連携工事に強み

### JR青梅線 東中神駅橋上化工事

シナジー部門  
線路部門



### 湯河原駅前広場整備工事(神奈川県 湯河原町)



### びゅうリエット三鷹新築工事(株)ジェイアール東日本都市開発)



### 日本リーテックゆめみ野学園新築工事(日本リーテック株)

シナジー部門  
線路部門





ジェイアールバス関東 東京支店新築工事(ジェイアールバス関東株)



五反田メッツ新築工事(JR東日本・日本ホテル株)



高崎芸術劇場新築工事(群馬県 高崎市)



南町海岸公共・公益施設新築工事(宮城県 気仙沼市)





# 『東鉄<sup>エコツ</sup>ECO<sub>2</sub>プロジェクト』の推進 = 建築部門等とのシナジーを活かす

### JR 海浜幕張駅

#### エコステ化工事(風力発電)



- シナジー部門 建築部門等
- 「一気通貫戦略」
- 「ワンストップショッピング戦略」

#### 「エコステ」

省エネルギー、再生可能エネルギーなど、様々な環境保全技術を駅に導入するJR東日本の取り組み

当社では四ツ谷、海浜幕張、湯本、小淵沢、武蔵溝ノ口、浦和の6駅の施工を担当

(2018年8月現在)

### 鹿島ソーラーステーション

#### 自社売電事業



### JR 小淵沢駅

#### エコステ化工事(太陽光発電)



### JR 武蔵溝ノ口駅

#### エコステ化工事(壁面緑化)



### アスベスト除去







### JR 信濃町駅

#### 壁面緑化リニューアル工事



### NRE西浦和工場(株)日本レストランエンタプライズ

#### 屋上緑化

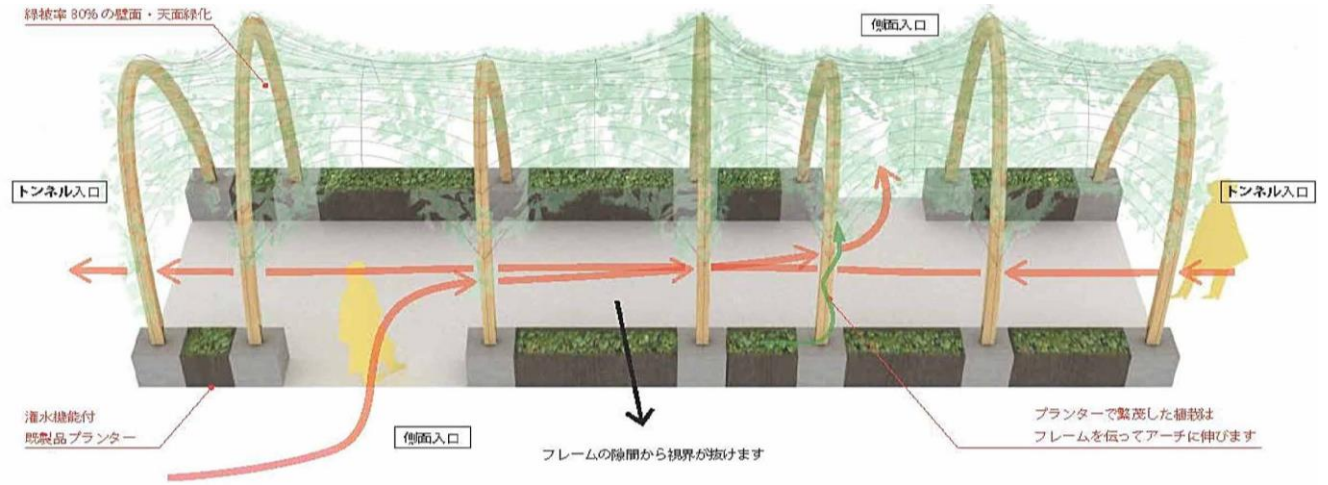


### 現場仮囲い緑化

#### 海老名工事所



## 暑熱対策(2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた暑熱対策公開テスト)





## 首都直下地震対策関連工事の実績と見通し

単位：億円

		'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	合計	'19/3期 (見通し)
受注	第二期	135	230	272	165	137	116	1,058	約70
	第三期 (更なる耐震補強)	-	-	-	-	-	45	45	約6
完工	第二期	32	130	223	231	212	146	977	約100
	第三期 (更なる耐震補強)	-	-	-	-	-	2	2	約8

### これまでに実施してきた首都直下地震対策関連工事

・盛土(擁壁)補強工事



・橋脚耐震補強工事



・駅舎等天井耐震化工事



・切土耐震補強工事



### 更なる耐震補強対策の取組み (JR東日本プレスリリースより抜粋)

#### (1) これまで実施している対策のエリア拡大が検討されるもの

高架橋柱、山岳トンネル覆工、電化柱(モルタル基礎)、盛土(高さ6m以上)、桁支点部等、無筋橋脚

##### 【新幹線】

南関東+仙台+活断層近接区間から活断層近接区間(最新の知見)へエリア拡大を検討

##### 【在来線】

現在実施している区間外へエリア拡大を検討

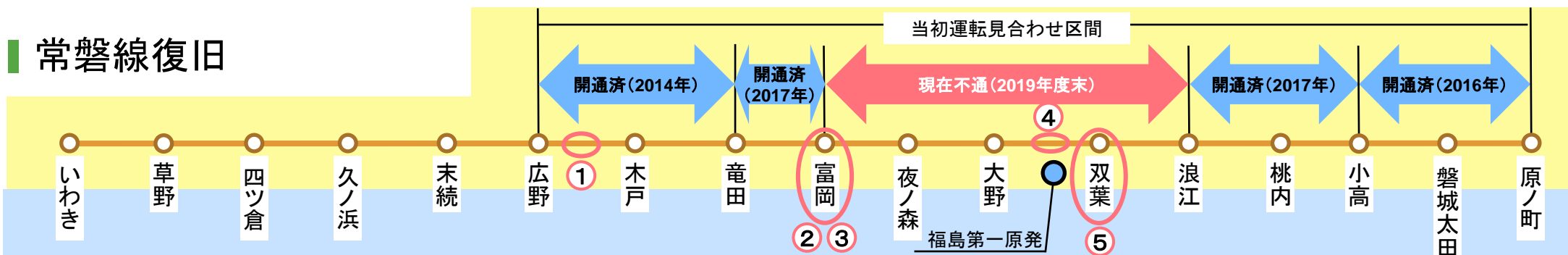
#### (2) 新たな対策として検討されるもの

山岳トンネル路盤、桁支点部、電化柱(砂詰め基礎)、盛土(高さ6m未満)、ホーム、ホームの上家等

# 3. トピックス



## 常磐線復旧





## ホームドア整備

### ホームドア設置までの施工フロー例

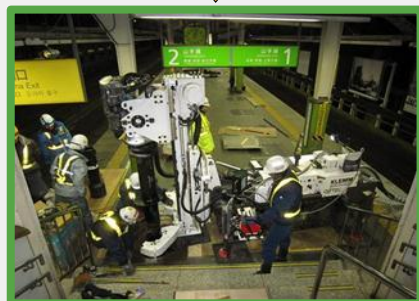
(高田馬場駅、目白駅などの場合)



①重機搬入



⑥設置完了



②杭打設



⑤ホームドア設置



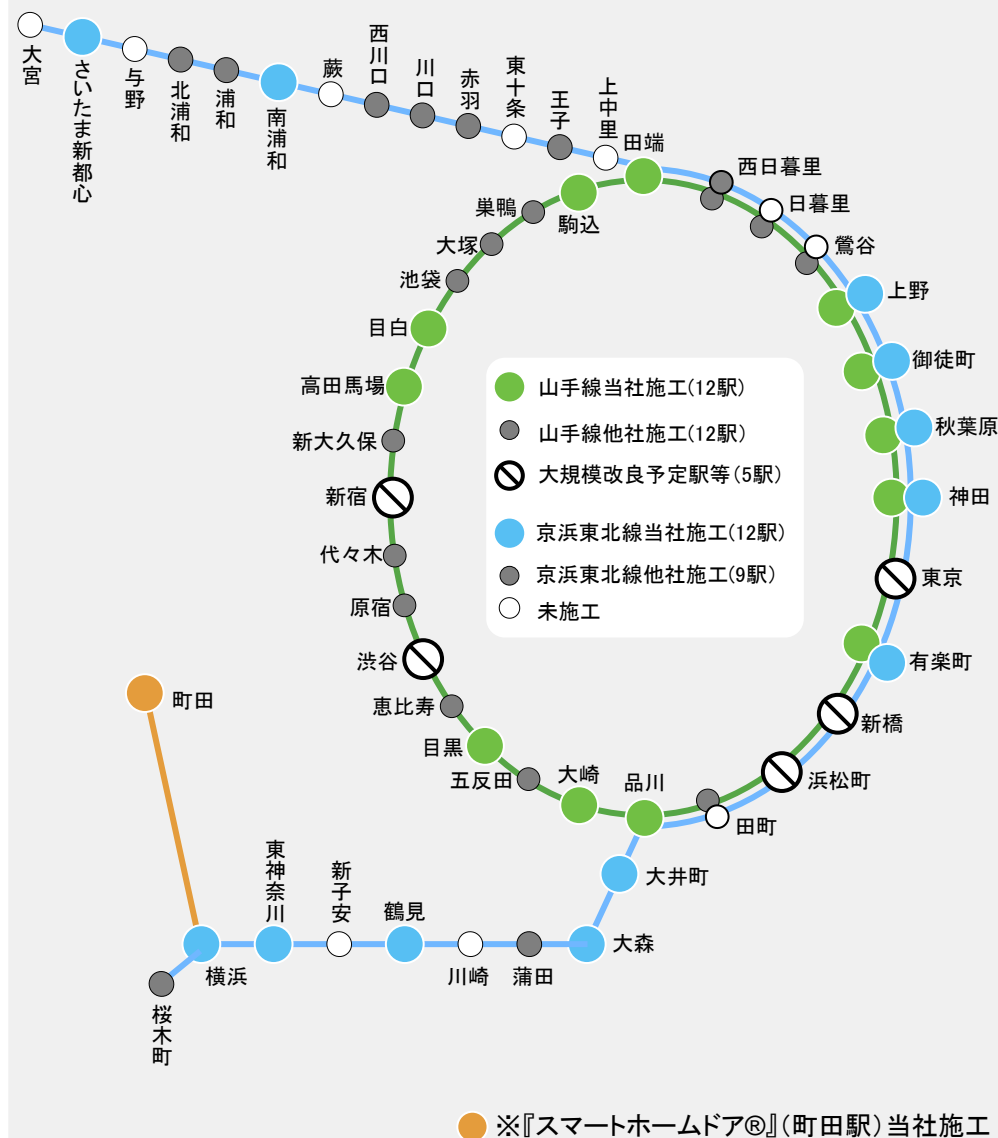
③受台設置



④PC板設置

### 山手線、京浜東北線 ホームドアの設置状況

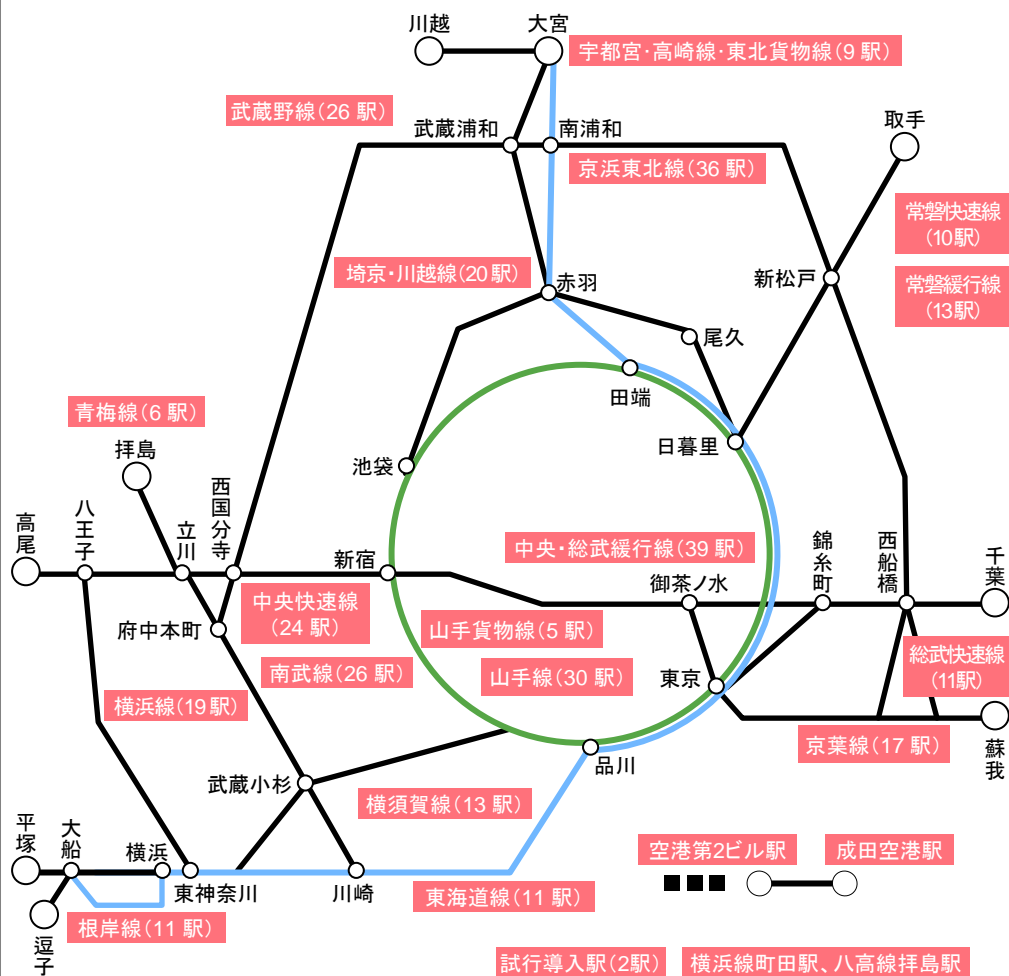
2018年8月現在





## ホームドア整備

2032年度末頃までに整備する線区(330駅)



『スマートホームドア®』

従来型ホームドア



『スマートホームドア®』



従来型のホームドアの他、早期整備を図るため、軽量で工期短縮可能な『スマートホームドア®』の導入が積極的に進められます。京浜東北線においては、新子安駅、鶯谷駅、上中里駅、東十条駅、蕨駅、与野駅、大宮駅に『スマートホームドア®』が整備されます。

※『スマートホームドア®』は、JR東日本メカトロニクス㈱の登録商標です。

## 4. 業績推移 (1)'18/3期実績 及び'19/3期計画値



'18/3期: 売上高、当期純利益は過去最高を更新

'19/3期: 更なる増収、営業利益増益を目指す

(百万円、%)

(連結)	'17/3期	'18/3期		'19/3期	'21/3期	
	実績	実績	'17/3期比		(計画値)	(新中計目標)
			増減額	増減率		
前期繰越高	69,910	72,864	+2,953	+4.2%	75,669	-
受注高	127,067	126,717	△350	△0.3%	123,000	-
売上高	130,634	131,209	+574	+0.4%	135,000	140,000
売上高総利益	20,085	19,785	△299	△1.5%	20,500	-
(売上高総利益率)	(15.4%)	(15.1%)	(△0.3P)	-	(15.2%)	-
営業利益	13,371	13,002	△369	△2.8%	13,100	14,000
(営業利益率)	(10.2%)	(9.9%)	(△0.3P)	-	(9.7%)	-
経常利益	13,668	13,301	△366	△2.7%	13,400	-
(経常利益率)	(10.5%)	(10.1%)	(△0.3P)	-	(9.9%)	-
当期純利益	9,583	9,982	+399	+4.2%	9,200	-
(当期純利益率)	(7.3%)	(7.6%)	(+0.3P)	-	(6.8%)	-
ROE	14.6%	13.6%	△1.0P	-	-	10%以上
総還元性向	28.0%	31.2%	+3.2P	-	-	30%

2017年5月  
自己株291,600株取得後

2018年5月  
自己株311,000株取得後

【DOEも意識した安定的な株主還元】

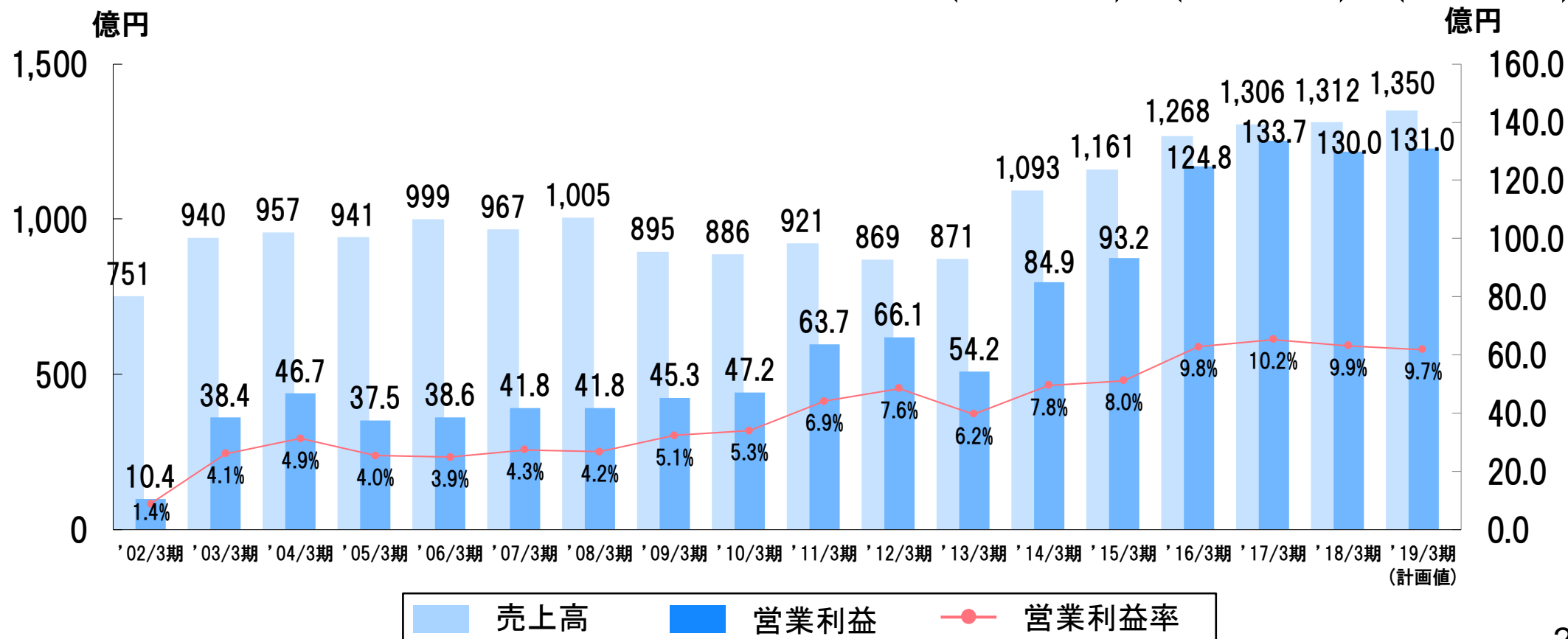
# 4. 業績推移 (2) 業績推移



## 売上高・営業利益・営業利益率 (連結)

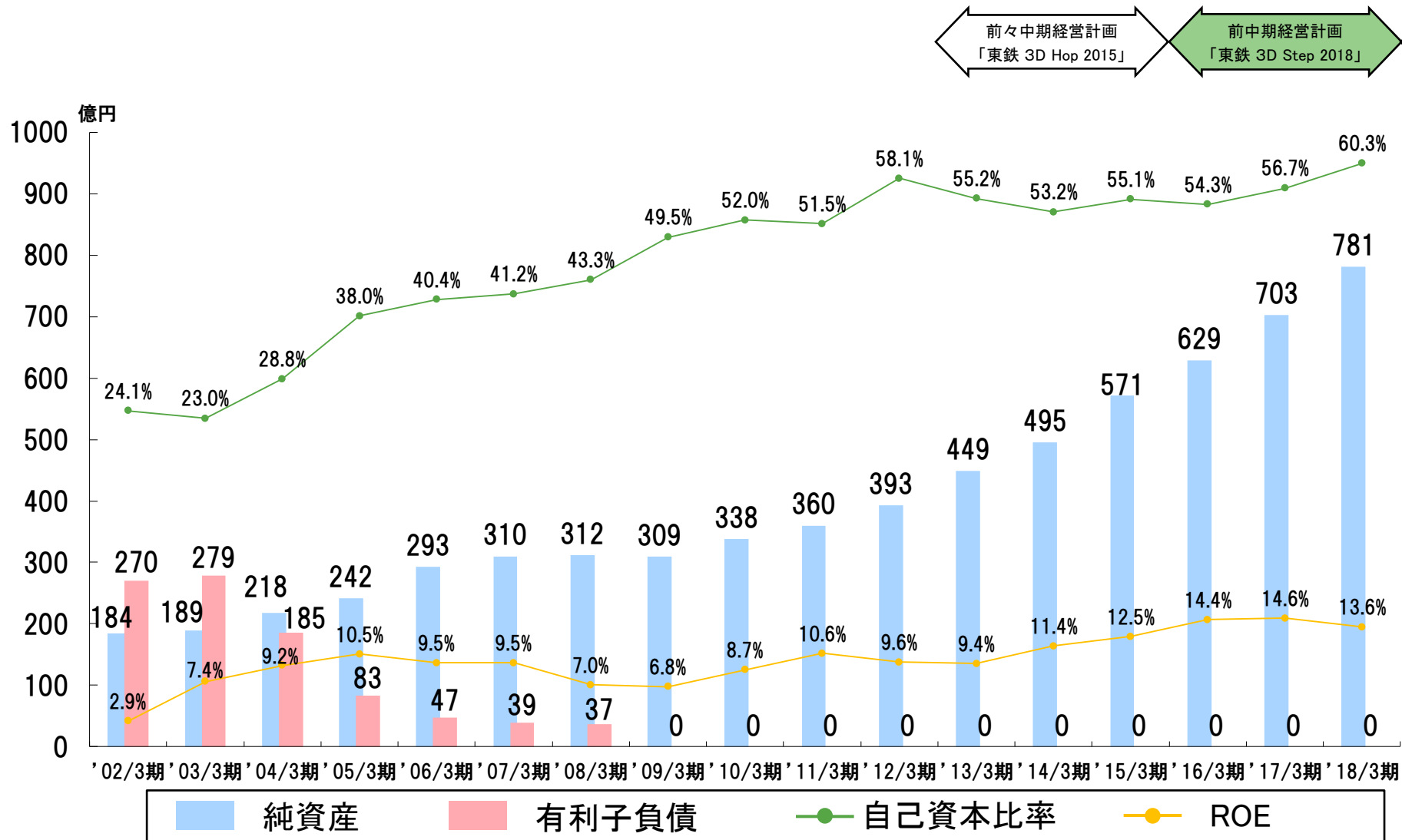
連結	東鉄 3D Step 2018(前中計実績)			東鉄 3D Power Up 2021(新中計)	
	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3(計画値)	'21/3(最終年度目標)
売上高	1,268億円	1,306億円	1,312億円	1,350億円	1,400億円
営業利益	124億円	133億円	130億円	131億円	140億円
ROE	14.4%	14.6%	13.6%	—	10%以上
総還元性向	27.0%	28.0%	31.2%	—	30% [DOEも意識した安定的な株主還元]

(□ は達成項目)





## 純資産・期末有利子負債・自己資本比率・ROE (連結)



### 【純資産】

過去17年間で  
およそ4.2倍に

### 【期末有利子負債】

ピーク時('03/3期末)279億円  
⇒'09/3期末以降10期連続ゼロ

### 【自己資本比率】

過去17年間で  
大幅増／高水準

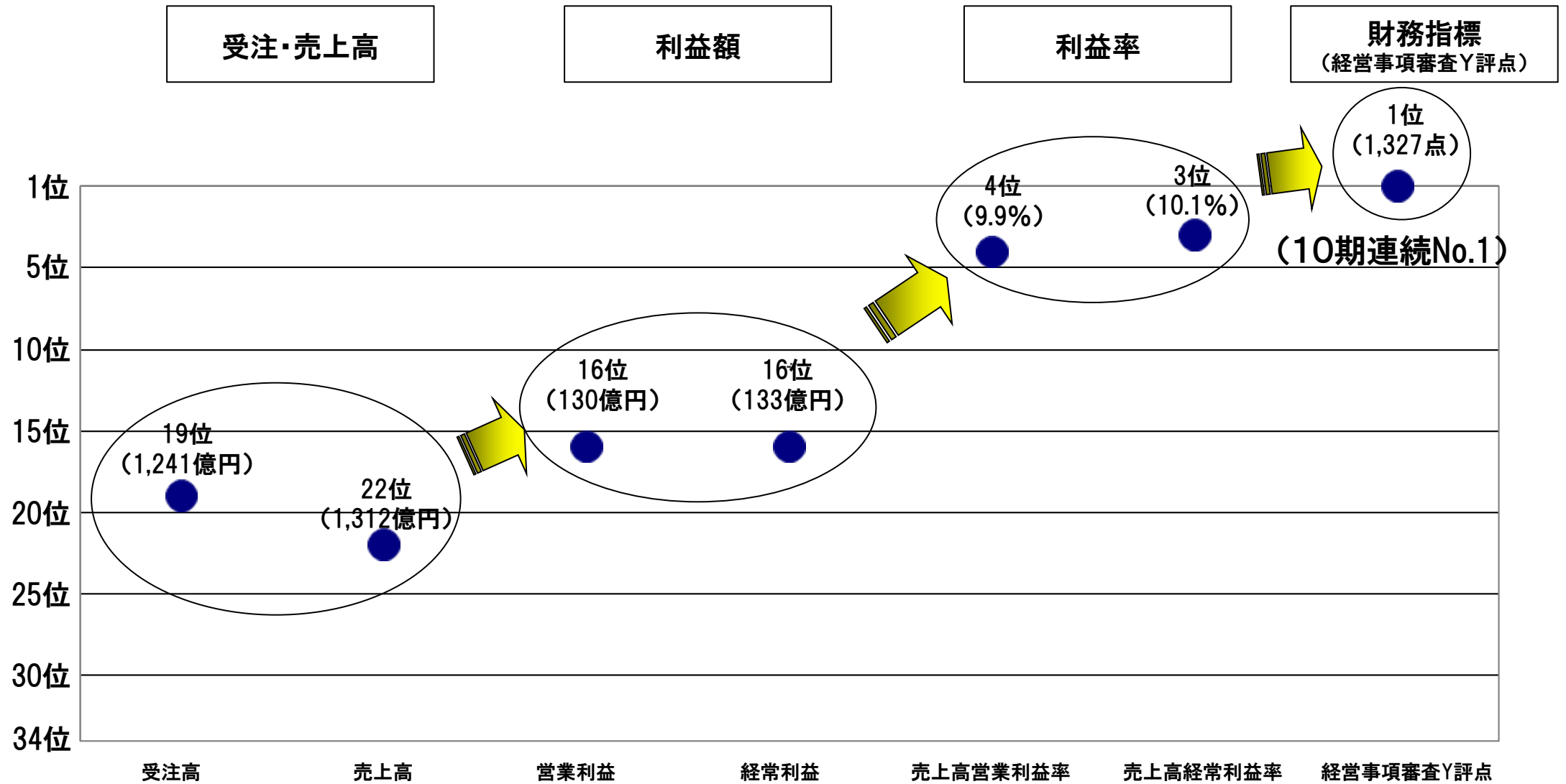
### 【ROE】

業界内で高水準を維持





## 当社の業界における地位



注1: 建設経済研究所による主要建設会社決算分析40社の内、一部上場34社を対象

注2: 上記数値及び指標は連結決算ベースで集計(受注高のみ単体集計) 数値及び順位については一部推定によるものも含む

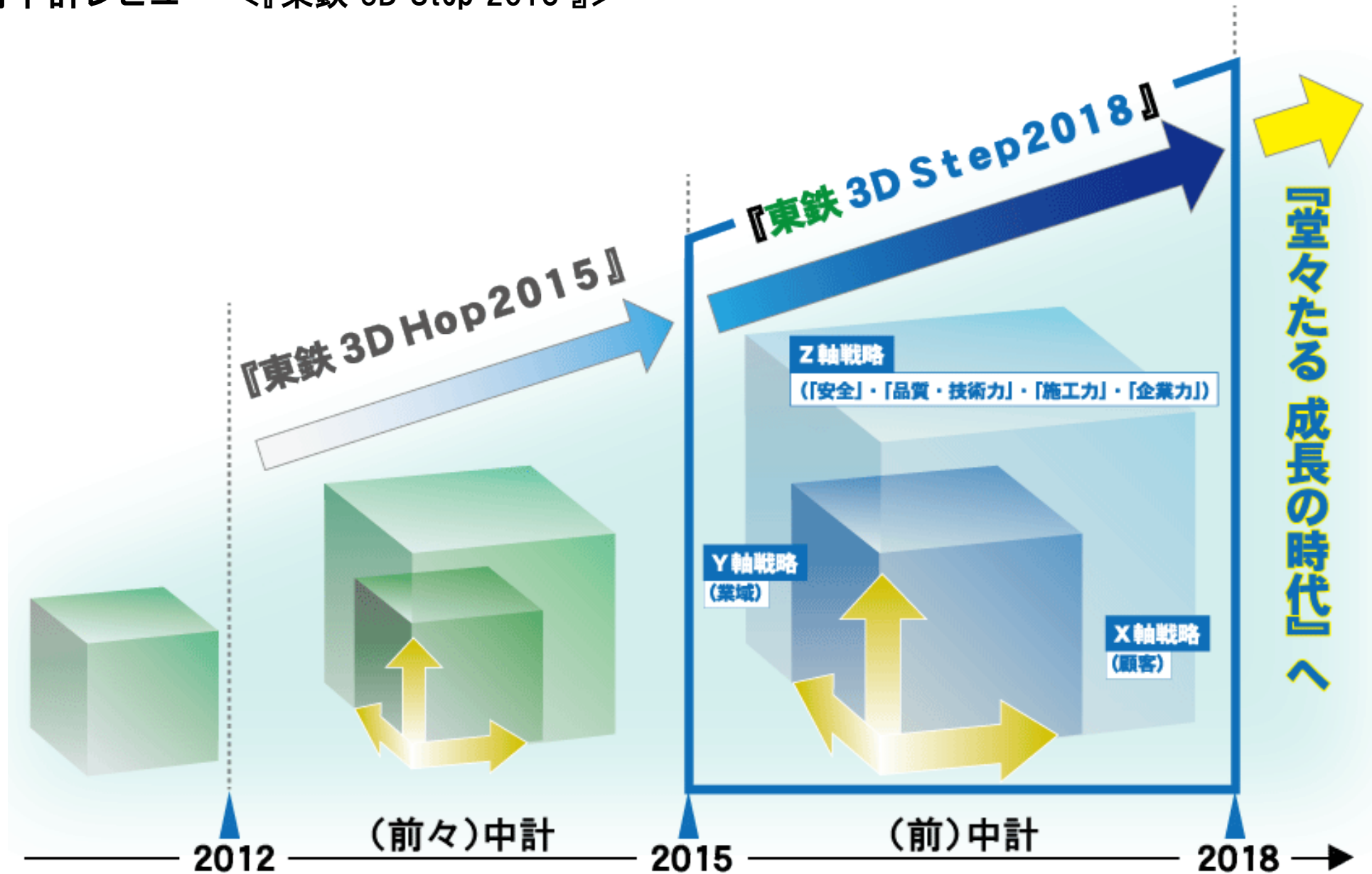
注3: 出典: 2018年3月期決算短信

注4: 経営事項審査Y評点は、2018年3月期時点での直近決算数値より当社が試算した推定値 (公共工事の入札に参加する建設業者の経営状況を国土交通省が定めた基準により表す指標)

# 5. 新中計『東鉄 3D Power Up 2021』



## 前中計レビュー <『東鉄 3D Step 2018』>



# 5. 新中計『東鉄 3D Power Up 2021』



## 前中計レビュー <『東鉄 3D Step 2018』数値目標>

- ・「売上高」は過去最高ながらも目標未達
- ・「営業利益」、「ROE」は目標達成
- ・「総還元性向」についても、2018年5月に自己株式取得により目標達成

連 結	『東鉄 3D Hop 2015』 前々中計実績	『東鉄 3D Step 2018』 前中計実績			前中計目標(’18/3最終年度)	
	’15/3	’16/3	’17/3	’18/3	(当初)	(最終変更後)
売 上 高	1,161億円	1,268億円	1,306億円	1,312億円	1,400億円	1,350億円
営業利益	93億円	124億円	133億円	130億円	120億円	130億円以上
ROE	12.5%	14.4%	14.6%	13.6%	10%以上	(変更なし)
総還元性向	24.7%	27%	28%	31.2%	30%	(変更なし)

当初目標達成

最終目標達成



## 新中計環境認識(2018～2021)

### (1)市場環境認識

- ・建設市場全体では、概ね「良好」な環境が継続するものと予想
- ・鉄道関連工事・耐震・防災・維持・修繕工事などに強みを持つ当社にとっては、「安全・安心ニーズの高まり」、「防災・減災対策」、「インフラ老朽化・長寿命化対策」など、当社の特徴を活かすことができる「追い風」の受注環境が続くものと予想。

### (2)当社の課題

- ・当社が、この「追い風」の受注環境を活かし、「持続的成長」につなげるためには、特に以下の課題において、「基礎体力」を一段と強化させることが必要。

安全・品質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・究極の安全に向けて、「安全力のさらなる強化」</li> <li>・より高まる安全・安心・品質に対する要請への対応</li> </ul>
生産性向上/技術開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能労働者不足が予想される中、さらなる「技術開発の強化」、「生産性の向上」、「施工力の向上」、「機械化の推進」が必要</li> </ul>
働き方改革/人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「働き方改革」や、「女性等活躍推進」など、「従業員満足度」の向上</li> <li>・人材育成など「人材力」の強化</li> </ul>
受注力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より質の高い「提案型営業力」の強化、公共工事受注資格の強化</li> <li>・「リピーター受注先」の確保・拡大</li> </ul>
ESG (環境・社会・ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ステークホルダーとの共通価値の創造」ができる経営を強化</li> <li>・「SDGs」と「ESG」を意識した経営を強化</li> </ul>



### 新中計 <『東鉄3D Power Up 2021』基本方針>

#### (1)「3D戦略」の継続

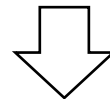
- ・「基本戦略」である「3D戦略」を継続強化。
- ・良好な事業環境を最大限活かし、「成長戦略」により、受注力、キャッシュ創出力を一層強化。
- ・「成長戦略」(X軸×Y軸)と「クオリティ戦略」(Z軸)の「スパイラル相乗効果」を図る。

#### (2)「Power Up Project」を新たにスタート

- ・「クオリティ戦略」においては、将来の「Jump」に備え、Z軸を大幅に伸ばし、「基礎体力」を一段と強化させるための3年間と位置づけ、「Power Up Project」を新たにスタート。
- ・「ステークホルダーとの共通価値の創造」を図る。
- ・「追い風環境」の今だからこそ、創出キャッシュを有効に活用。

#### (3)「堂々たる成長と飛躍」(「Jump」)につなげる

- ・「Power Up Project」により伸ばしたZ軸を基に、さらなる「成長戦略」(X軸×Y軸)の展開を図り、「堂々たる成長と飛躍」(「Jump」)につなげる。



3ヵ年新中期経営計画(2018～2021) 『東鉄 3D Power Up 2021』をスタート



# 『東鉄 3D Power Up 2021』

<2018年4月 スタート>

## 「3D戦略」

成長戦略(量) = X軸×Y軸

- ・X軸戦略(顧客層のウイングを拡大)
- ・Y軸戦略(業域の深掘り)



スパイラル相乗効果

クオリティ戦略(質) = Z軸

- ・Z軸戦略(安全・品質・技術力・人材力・生産性・ESG)

## 「Power Up Project」

<取り組みテーマ>

- Z-1 安全・品質向上
- Z-2 生産性向上/技術開発
- Z-3 働き方改革/人材育成
- Z-4 ESG(環境・社会・ガバナンス)

良好な事業環境を活かし  
キャッシュ創出力を一層強化

キャッシュを有効活用した  
各種施策・投資推進

狙い	目標
●「安全・品質」レベルのさらなる向上による「顧客満足度向上」	・重大事故・致命的労災ゼロ ・準重大事故・準致命的労災ゼロ ・安全・安心・高品質・高付加価値
●「技術開発」等による「生産性向上」、「施工力向上」	・10%アップ(2020年度) ・20%アップ(2025年度)
●「働き方改革」による「従業員満足度向上」	・東鉄型4週8休完全実施(2021年度) ・長時間労働排除 ・女性等活躍推進
●「人材育成」による「人材力」の強化	・新研修センター 2021年度フル運用開始
●「協力会社とのパートナーシップ強化」	
●「SDGs」と「ESG」を意識した経営の強化	

当社	Z軸(クオリティ)を大幅に伸ばし 「基礎体力」を一段と強化
	「社会的使命」を果たす
	「企業価値向上」+「持続的成長」
ステークホルダー	「共通価値の創造」

<2021年3月 完了>

伸ばしたZ軸を基に  
さらなる成長戦略展開へ  
(X軸×Y軸)

将来の「堂々たる成長と飛躍」(「Jump」)へ



## A. 安全・安心ニーズの高まり

[成長戦略(X軸×Y軸)]に関する施策

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度以降
主な取り組み	鉄道メンテナンス ・大型保線機械によるレール削正、・鉄道・老朽化構造物メンテナンス工事 など						
	ホームドア整備(山手線、京浜東北線)			ホームドア整備(常磐緩行線、中央・総武緩行線 他)			
	・2020年度 第一四半期までに整備			・2032年度末まで(東京圏在来線の主要路線)			
	駅施設などのバリアフリー/橋上化 など ・駅設備等のバリアフリー化/駅橋上化/各種プロジェクト工事						



資料提供:JR東日本

ホームドア

## B. 復旧・復興・防災・減災対策

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度以降
主な取り組み	常磐線復興		2019年度末 運転再開予定				
	只見線復旧				2021年度中 運転再開予定		
	・大規模災害等の復興(常磐線など)						
	首都直下地震対策(第2次)/首都直下地震対策(第3次) ・首都直下地震対策(第2次、第3次)						
降雨/暴風など異常気象対策 ・防災対策(降雨・暴風対策 他)							



只見線復旧



降雨防災対策





### C. インフラ老朽化・長寿命化対策

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度以降
主な取り組み	新幹線レール交換(大宮～郡山間) 2026年度まで						
	・施工効率の向上 など						
	新幹線鉄道大規模改修 (2031年4月～)						
	・新工法・材料等の検討・開発 など						
「鉄道、道路、橋りょう、高架橋、建築構造物などの補強・維持・更新」へのニーズ対応							
・在来線老朽設備交換(PCマクラギ等)、大規模改良工事(レール交換 他) 等							
・トンネル改修、橋りょう架替え ・道路、橋りょう、高架橋 補強・維持・更新、長寿命化							



新幹線トンネル改修

### D. 東京オリンピック・パラリンピック/インバウンド

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度以降
主な取り組み	会場周辺駅等の改良						
	・千駄ヶ谷、信濃町、有楽町、大井町、新木場 など						
	宿泊施設建設						
	・秋葉原、五反田 など						
暑熱・緑化対策							
・駅壁面緑化(競技会場周辺)							
・宿泊施設への暑熱・緑化対策							
・都市緑化による暑熱対策							



資料提供: JR東日本

宿泊施設建設



## E. 鉄道ネットワークの機能・利便性向上

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度以降	
主な取り組み	品川新駅対応		2020年 暫定開業					
	相模鉄道・JR直通運転		2019年度 下期予定					
	・線路新設等の大型プロジェクト工事							
	中央快速線等へのグリーン車サービス						2023年度末 サービス開始予定	
	・駅改良(配線変更、ホーム延伸・改良 等)							
	駅改良/新駅設置・線路新設等の大型プロジェクト工事							
	・立体交差化、複線化等の大型プロジェクト工事 他							
	・新駅設置、駅改良(ホーム改良、大規模駅ビル改良 他)、駅周辺施設整備							
	羽田空港アクセス線構想							



品川新駅対応



相模鉄道・JR 相互直通

## Y. 新しい展開/深掘りする新規事業【Y軸】

部門	主な取り組み
線路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備新幹線他、延伸計画</li> <li>・海外関連、・新線建設(LRT)</li> </ul>
土木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型構造物(橋りょう、トンネル、シールド、ケーソン 他)</li> <li>・構造物の長寿命化、国土強靱化/地方創生事業</li> </ul>
建築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション(高層住宅、大規模改修、ZEB化 等)/非住宅(大型店舗、オフィス、保育園、老人福祉施設、大規模物流施設等)</li> <li>・設計施工/省エネルギー化提案/リノベーション、コンバージョン</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道沿線除草の機械化、・グリーンインフラ・雨水利用の研究・開発、・エコビル、ZEB化の研究開発、CO2削減の研究開発</li> <li>・再生可能エネルギー(太陽光発電)</li> </ul>



## 「Power Up Project」

### 【クオリティ戦略(Z軸)】に関する施策

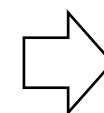
- ・「質」を向上させることで、企業価値を高める「クオリティ戦略」
- ・「安全」・「品質」の強化が全ての基礎
- ・安全・品質・技術力・人材力・生産性・ESGなどにおける「基礎体力」を一段と強化させるための「Power Up Project」を新たにスタート



#### 当社の課題

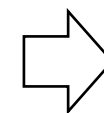
- ・究極の安全に向けて、「安全力のさらなる強化」
- ・より高まる安全・安心・品質に対する要請への対応、「顧客満足度」の向上
- ・技能労働者不足が予想される中、さらなる「技術開発の強化」、「生産性の向上」、「施工力の向上」
- ・機械化が進んできてはいるが、まだ人力に頼る作業も多く残っており、さらなる「機械化の推進」が必要
- ・大型保線機械が増加していく中、「安定稼働」、「故障防止」への対応
- ・現場における4週8休、労働時間短縮などの「働き方改革」や、「女性等活躍推進」など、「従業員満足度」の向上
- ・人材育成など「人材力」の強化
- ・施工管理・事務効率化などの「業務改善」、さらなる工事平準化
- ・「協力会社とのパートナーシップ」強化
- ・「ステークホルダーとの共通価値の創造」ができる経営を強化
- ・「SDGs」と「ESG」を意識した経営を強化
- ・「環境」へのさらなる取り組み など

#### <「Power Up Project」 取り組みテーマ>



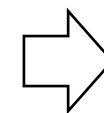
Z-1

**安全・品質向上**



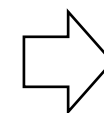
Z-2

**生産性向上/技術開発**



Z-3

**働き方改革/人材育成**



Z-4

**ESG(環境・社会・ガバナンス)**



## Z-1 安全・品質向上

- 「究極の安全と安心」の追求
  - 安全・作業環境向上ツール 開発・導入
  - 鉄道用機械の開発・改良
  - 大規模災害時のBCP対応
- 「安全のPDCA」サイクル導入による安全レベルの向上
- 品質向上への取り組み強化
  - 各種機械・ツール 開発・導入

## Z-2 生産性向上／技術開発

- 鉄道工事を中心とした「東鉄型イノベーション」の推進
- 技術開発力の強化
- 施工力の強化
- 保線用機械メンテナンス体制の強化

目標⇒生産性向上 10%アップ(2020年度)  
20%アップ(2025年度)

機械故障による作業中止回数を60%削減



軌道走行車(No-Le)



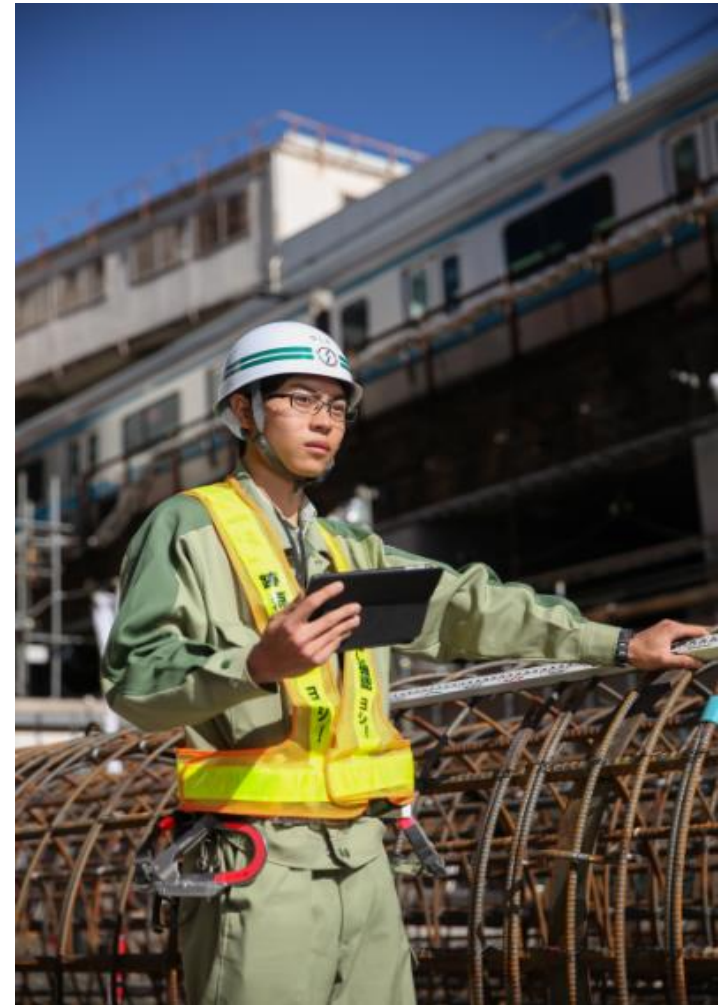
### Z-3 ① 働き方改革

- 現場業務負担軽減・総労働時間の削減
  - 業務支援ツール 開発・導入
- 生産性向上のための業務改善
- 働き方改革
- 適正な工期設定、工事平準化等についての発注者への理解要請
- 女性等活躍推進
- 協力会社との連携・支援強化

目標⇒東鉄型4週8休の完全実施(2021年度)  
時間外労働の削減

### Z-3 ② 人材育成

- 教育研修体制の再構築(新研修センター建設等々)
- 実効性のある具体的な教育・訓練の強化



ipadを活用した施工管理



## Z-4 ESG(環境・社会・ガバナンス)

- 「E」:環境への取り組み
  - 「東鉄ECO<sub>2</sub>プロジェクト」の推進・強化
- 「S」:女性等活躍推進
- 「G」:「攻め(収益力/資本効率)」と「守り(リスク管理)」の両方を重視したコーポレートガバナンス経営の推進・強化

目標⇒「SDGs」と「ESG」を意識した経営の強化  
「ステークホルダーとの共通価値の創造」



女性等活躍推進



## 「ステークホルダーからの信頼」と「共通価値の創造」

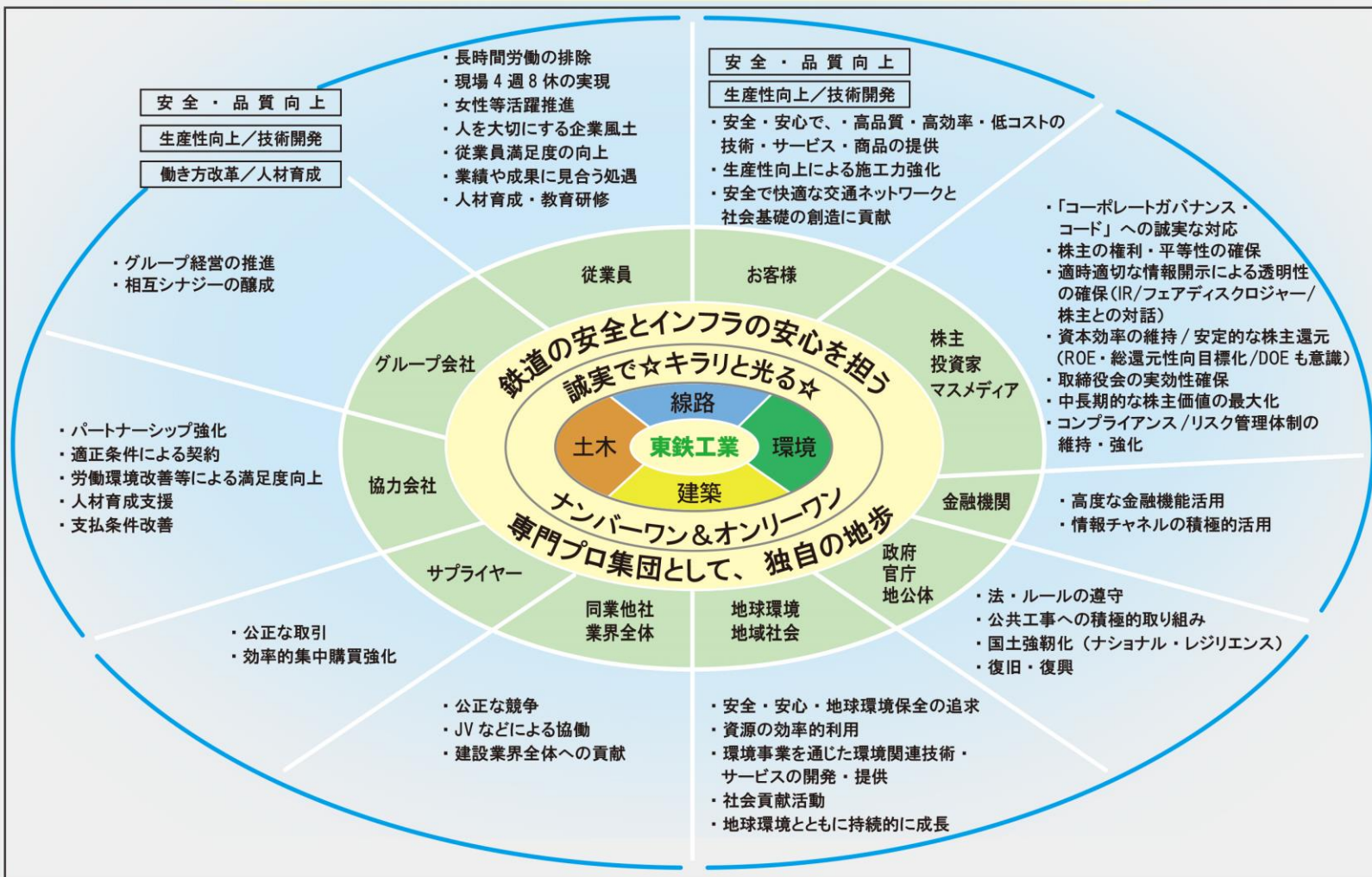


SDGs & ESG

### 「ステークホルダーからの信頼」と「共通価値の創造」

リスク・コスト要因認識

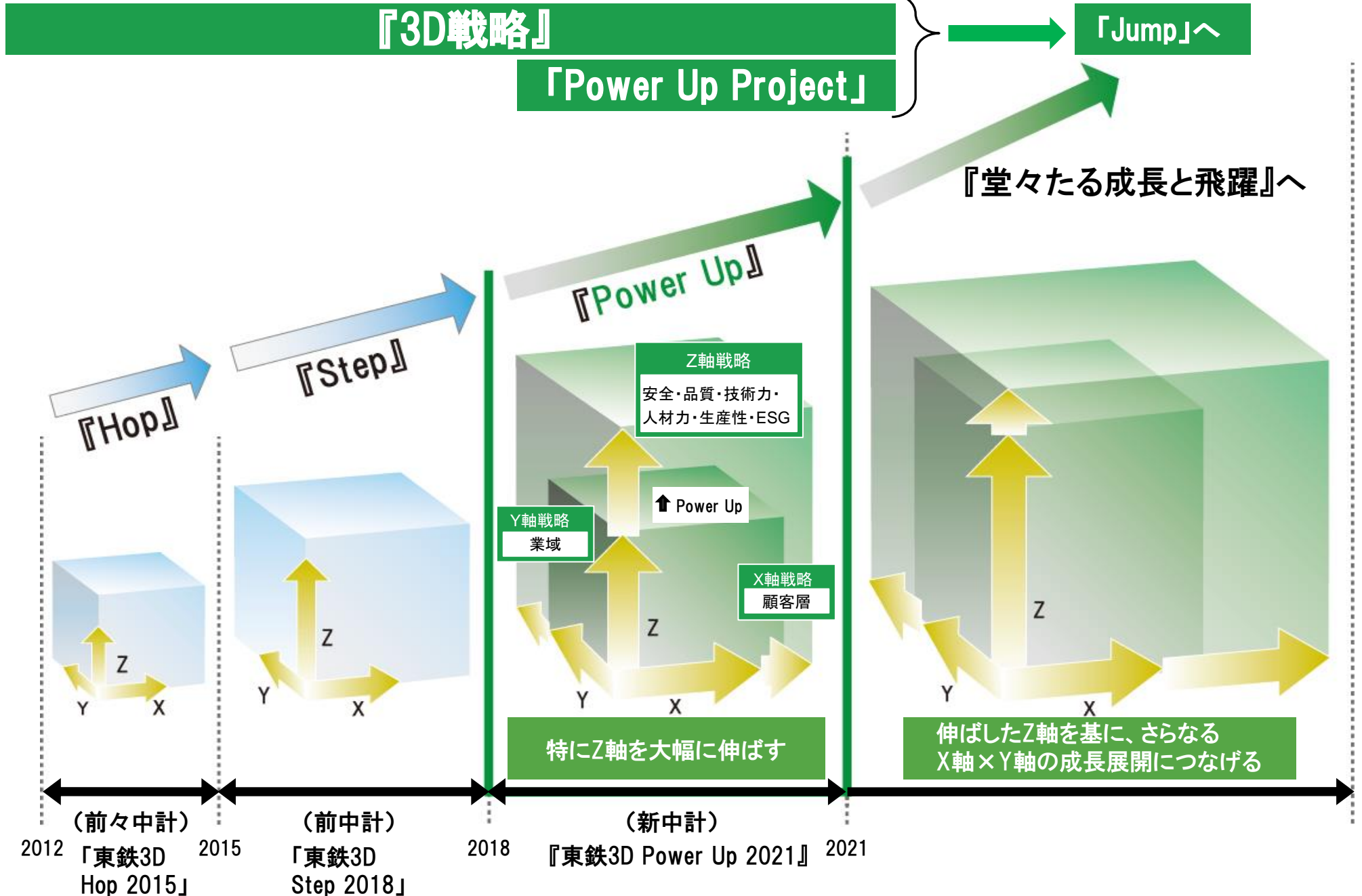
事業機会認識



# 5. 新中計『東鉄 3D Power Up 2021』



Hop = Step = **Power Up** = Jump への道筋







## 1. 数値目標

【連結】	前々中計実績	前中計実績	新中計目標
	'15/3	'18/3	'21/3
売上高	1,161 億円	1,312 億円	1,400 億円
営業利益	93 億円	130 億円	140 億円
ROE	12.5 %	13.6 %	10 %以上
総還元性向	24.7 %	31.2 %	30 % 【DOEも意識した安定的な株主還元】

$$\text{株主資本配当率(DOE)} = \frac{\text{配当金総額}}{\text{自己資本}} = \frac{\text{配当金総額}}{\text{当期純利益}} \times \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$$

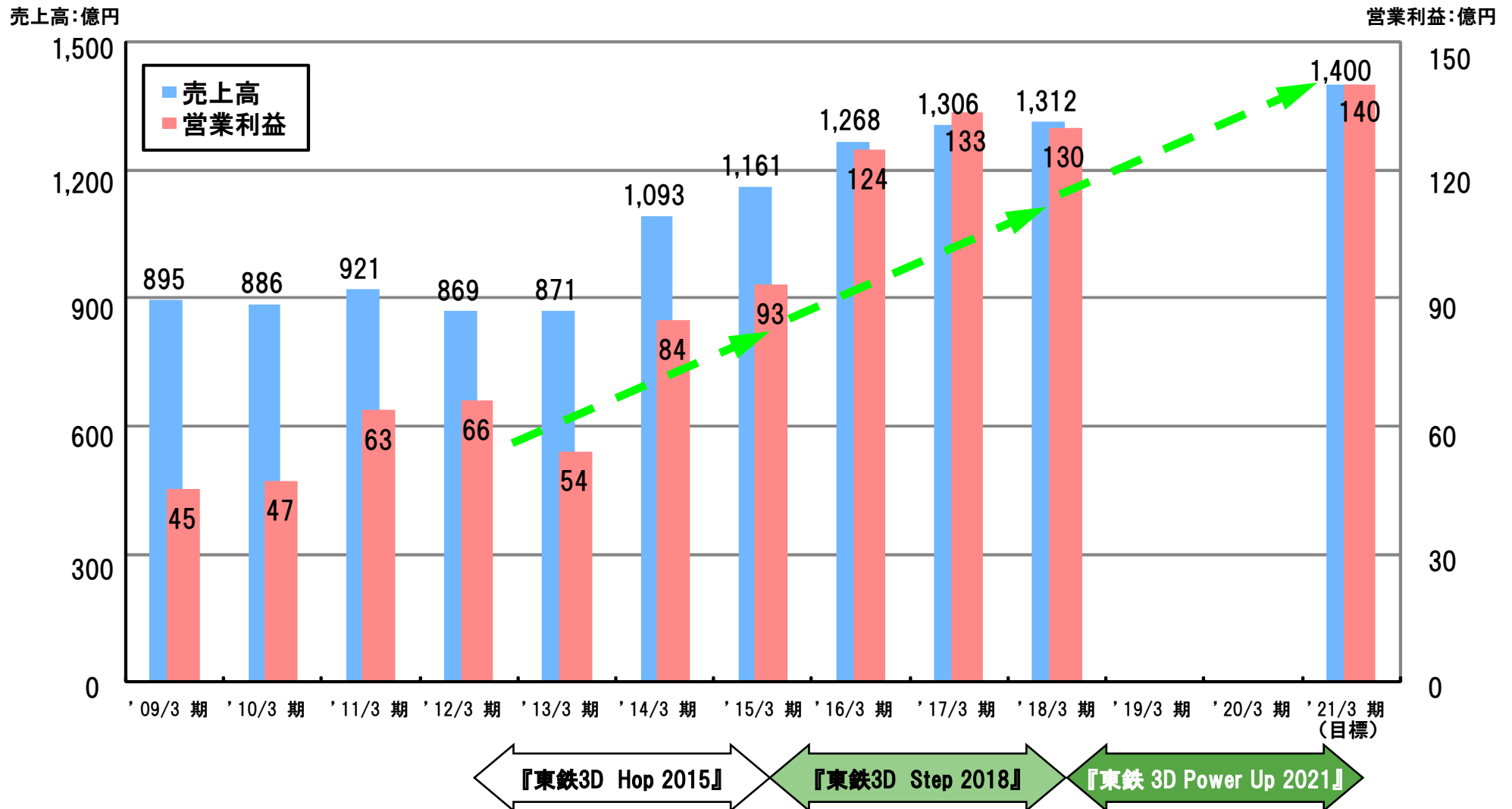
(配当性向)
(ROE)

# 5. 新中計『東鉄 3D Power Up 2021』



## 2. 数値目標（売上高・営業利益）

- ・次期3カ年は、将来の「Jump」に備え「基礎体力」を一段と強化させる  
「Power Up」期間と位置付け
- ・「Power Up Project」投資・費用などにキャッシュを戦略的に配分
- ・安定的かつ堅実な持続的成長目標を設定

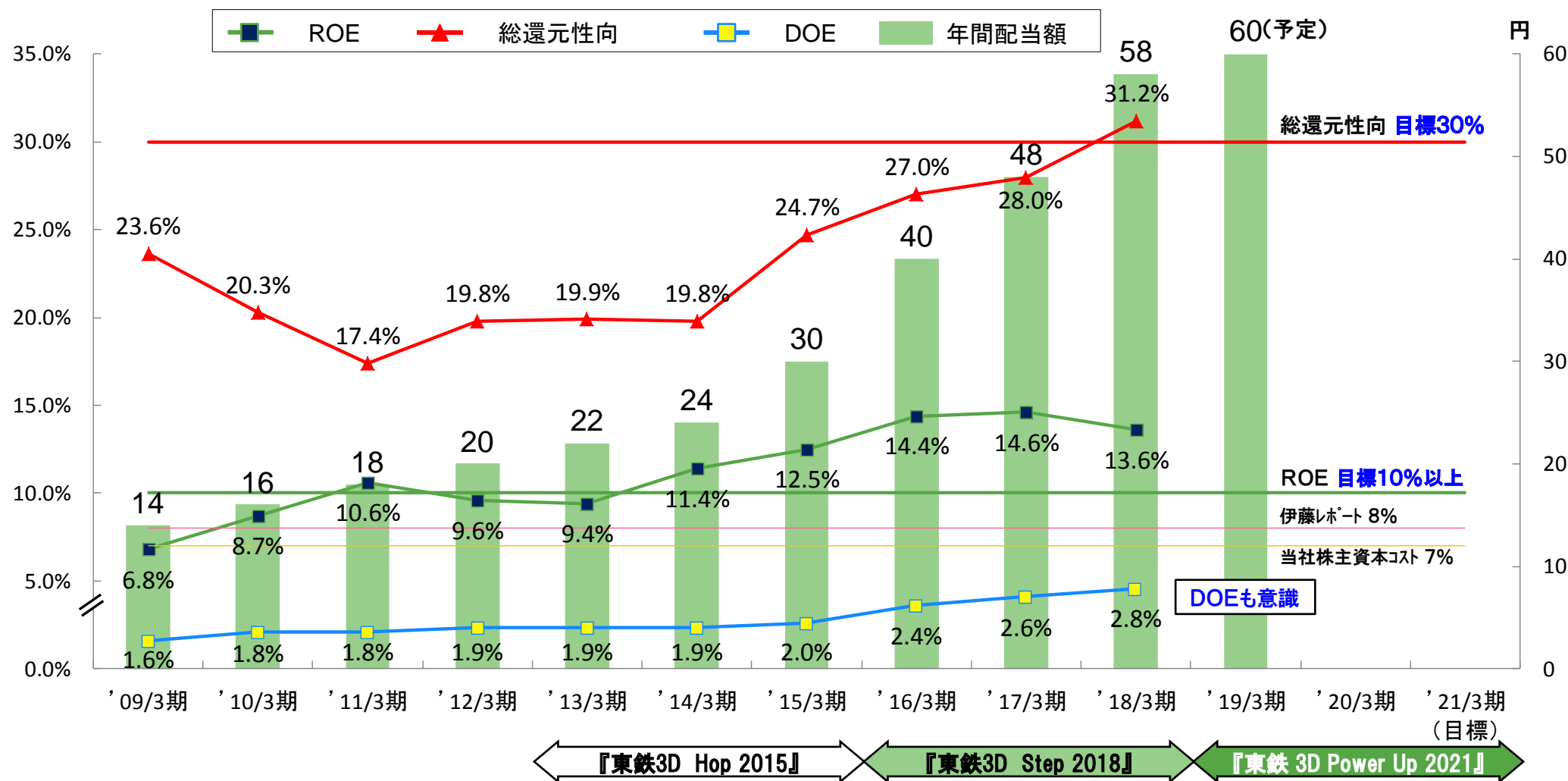


# 5. 新中計『東鉄 3D Power Up 2021』



## 3. 数値目標（資本効率・株主還元）

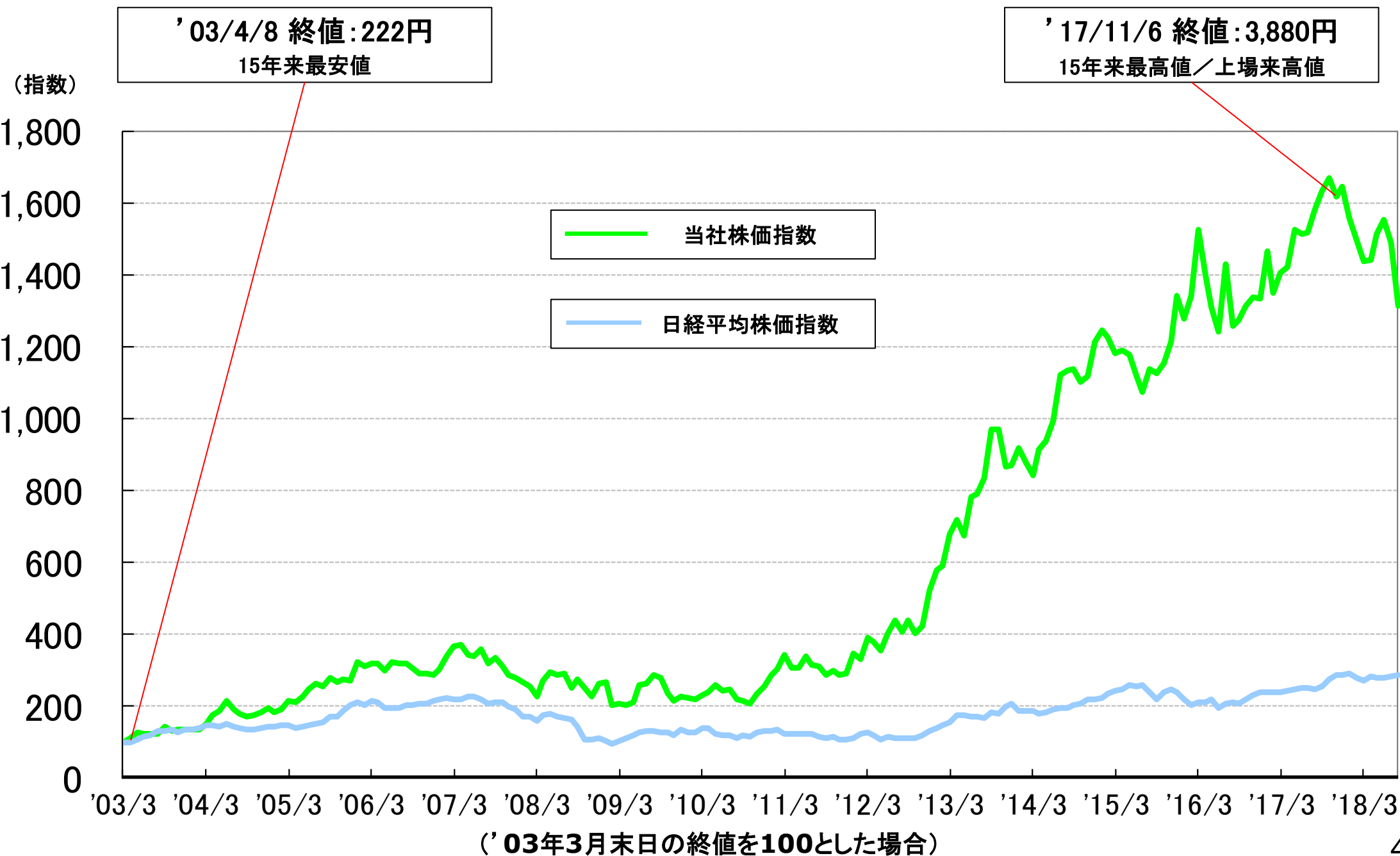
- ・'18/3期は58円配当 前期比10円の大幅増配(9期連続増配・連続増配回数上場建設会社最多)
- ・新中計でも「ROE 10%以上」、「総還元性向 30%」目標を維持継続
- ・DOEも意識した安定的な株主還元を図る



	'09/3期	'10/3期	'11/3期	'12/3期	'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'19/3期
年間配当額	14円	16円	18円	20円	22円	24円	30円	40円	48円	58円	60円(予定)
(内.中間配当)	—	—	—	—	—	—	—	(16円)	(21円)	(25円)	(30円(予定))
自己株取得	—	—	—	—	—	10万株	20万株	30万株	30万株	31万株	—



## 過去15年間の株価推移





## 社長プロフィール



代表取締役 社長  
柳下 尚道(やぎした なおみち)

昭和30年	神奈川県横浜市出身
昭和54年	東京大学 工学部土木工学科 卒業 国鉄入社(四国総局(高松)、大阪鉄道管理局(吹田)など)
昭和62年	東日本旅客鉄道株式会社(勤務地:本社、盛岡、新潟など)
平成5年	経営管理部 調査役(株式上場後初代のIR担当)
平成20年	取締役 鉄道事業本部 設備部長 東鉄工業(株)社外取締役就任(平成20年6月～平成22年6月)
平成22年	常務取締役 鉄道事業本部 副本部長 (東日本大震災の復旧に従事)
平成24年	常務取締役 鉄道事業本部長 (安全対策、防災対策、輸送改善、サービス向上などに従事)
平成26年	代表取締役 副社長
平成28年6月	東鉄工業(株) 代表取締役社長就任

## 当社ホームページ:『個人投資家の皆様へ』

トップメッセージや中期経営計画、最新のIR資料のほか業績の推移など各種データをご参照ください。

また、ホームページの動画ライブラリーにて、会社紹介等の動画もご覧いただけます。



日本IR協議会  
2015年度「IR優良企業賞」を受賞  
(建設業界では初の受賞)



日本IR協議会  
2012年度「IR優良企業特別賞」を受賞



本日はご清聴誠にありがとうございました。

お問合せ先: 東鉄工業株式会社 経営企画本部 広報・IR部  
TEL: 03-5369-7611  
ホームページURL : <http://www.totetsu.co.jp>

### 免責事項

本資料は、当社の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。